

ReadNotify、サインアップと簡単な使い方のご紹介

1. ユーザ登録

ReadNotify へのユーザ登録は以下の手順で行います。http://www.readnotify.comでReadNotifyに入って頂きますと、右の画面が表れます。

マルで囲んだところに御自分のメールアドレスを入れ、「サインアップ」をクリックします。

ReadNotify は無料でお試しください。
(ただし、2週間以内に最大10メール・文書まで) 良かったら有料で継続してお使い下さい。

すると右の画面が現れます。

ここで、名字、名前、パスワードを入れ、国、言語、タイムゾーンを選択します。

パスワードを忘れた時用の秘密の質問とその答えを入れます。

「プロモーションコード」、「友達のメールアドレス」、「どこで弊社の...」は特に入れなくてもかまいません。

利用規約のところにチェックを入れ、「サインアップします」をクリックします。

The image shows two screenshots of the ReadNotify website. The top screenshot is the login page with a 'サインアップ' (Sign Up) button circled in red. The bottom screenshot is the sign-up page with various input fields for name, email, password, country, language, and time zone, along with a 'サインアップします' (Sign Up) button.

すると以下の画面が現れます。これで登録は終わりです。

右の画面と同じ内
容のメールが今登
録したメアドに
送られます。



2. ログイン

通常のサインインは、ReadNotifyのホームページに入って、登録したメールアドレスとパスワードを右図の様に入れ、「ログイン」をクリックして行います。



3. メニュー画面の表示

すると、右の画面が現れます。

この画面がReadNotifyのメインメニュー画面です。通常はページの上にあるコマンドラインのコマンドをクリックしてお使い頂きます。



4. グラフィックメニュー(プラグイン)のインストール ReadNotify を快適にお使い頂くにはグラフィックメニューを使うことをお勧めします。このプラグインを一旦インストールすると、グラフィック表示した ReadNotify のメニューの中から使う機能をクリックし、後は通常通りにメールを送信して頂くだけで ReadNotify がお使い頂けます。

メニュー画面の「アクティブラッカー プラグイン」をクリックすると右の画面が現れます。

ReadNotifyのアクティブラッカーメールプラグイン

アクティブラッカーメールプラグインにより追跡、認証、その他の機能が簡単にご利用いただけます！

- **追跡**：いつ送信メールを読んだか、どこで受信者が読んだか、何分何秒メールを読んだか、メールを印刷したかどうか、メールを誰に転送したか、その他いろいろな事がわかります。
- **送信メールの認証**：送達証明、開封証明、電子署名とタイムスタンプが入った証明能力のある受信書を提供します。
- **自己消滅メール**：送信メールの印刷とコピーと転送とプリント・スクリーンへの防止、メール送信後の送信取消、メール印刷後一定時間後にメールを自動削除。
- **確実な送達**：送信メールの発信時通知を保証、メール送信後の送信取消。
- **詳細な通知**：メール、SMS、ICQ、ポケベル、ユーザー自身のWebページのメールインボックスに通知。

General Purpose Plugin.

弊社の汎用アクティブラッカープラグインは、Microsoft OutlookとOutlook Expressを含むすべてのメールプログラム、ネットスケープ、ユードラ、Incredimail、Pegasus、Thunderbird、Incredimail等のほとんどのSMTP互換のメールプログラムで機能します。また、HotMailとYahooを含む最も広く使われているWebメールサービスでも機能します。

メールの追跡は完全に自動化されています。(メールアドレスの変更やreadnotify.comの追記、特殊な部分のクリック、通常のメール送信の操作と異なる操作は必要ありません。)

メール追跡機能のオン、オフや設定ページやメール追跡インボックスへの移行はいつでも、プラグインのポップアップメニューにより簡単にできます。

- 手軽に使えます
- Microsoft OutlookとOutlook Expressを含む全てのメーカーで稼働します。
- 全てのバージョンのWindowsで稼働します。
- 追跡、認証、自己消滅などの他に立つReadNotify機能が利用できます。
- メールアドレスの変更やreadnotify.comの追記は必要ありません。
- そしてもちろん、全てのReadNotifyの機能がデスクトップ環境を離れてもご利用いただけます。それは、弊社のreadnotify.comトラッキング機能はどこからでも機能するからです。

今、ダウンロードしてください (1mb/21カ)	ミラー 1	rngen32.exe	速さ:高
	ミラー 2	rngen32.exe	速さ:中
	操作マニュアル		

汎用プラグインのためのWebメール更新

弊社の“汎用プラグイン”をお使いで、YahooやHotmailなどの様なWebメールサービスをお使いなら、この更新をお願いします。


今ダウンロードを!
(180kb/21カ)

ミラー 1	mieup4.exe	速さ:高
-------	------------	------

技術的なご案内: ここで行うのは更新だけであり、上でご案内した“汎用プラグイン”をインストール済みであることが条件になっています。ここでダウンロードするコンポーネントは“ブラウザ補助オブジェクト(Browser Helper Object: BHO)”としてReadNotify機能をあなたのWebメールページに挿入します。そのclassID、ファイル名、識別子は、0050A67F-CF26-41AE-9CDA-C32307C941CBまたは“mieplug.dll”またはmieplugまたはRnPluginSiteです。このコンポーネントはプライバシー侵害とは無関係であり、何も記録せず、(第三者のWebサイトなどを含む)他者に対する通信機能を全く持たないので、安全にお使いいただけます。

プラグインは右のrngen.32 をクリックしてダウンロードし、インストールして頂きます。その詳細は「操作マニュアル」をダウンロードしてご参照ください。

5. グラフィックメニュー（プラグイン）の使い方

プラグインをインストールすると、 の様なアイコンがPC画面下のタスクバーやブラウザのツールバーに現れます。これをクリックすると右の様なプルダウンメニューがポップアップで表れます。

各メニュー行の左端をクリックするとチェックマークが現れます。これにより、次に送信するメール1つに対してだけこの機能を使うこととなります。メニュー行の右端のピンをクリックすると、ピンが立ちます。これにより、これ以降送信するメール全てに対してこの機能をずっと継続して使うこととなります。

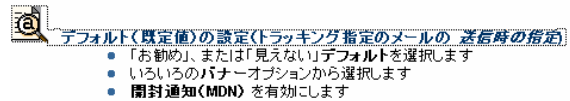
この指定の後は、通常通りにメールを送信します。



6. 文書の追跡方法

追跡したい文書は、一つ一つ追跡可能な形に変換する他に、以下に示す様に、メールに添付して送るだけで自動的に追跡可能な形式に変換できます。ReadNotifyha この文書が開かれる度にその情報を教えてくれます。

メニュー画面から以下のメニューをクリックします。



次に、以下の項目の内必要なものをチェックし、指定を保存します。

追跡指定したい文書をメールに添付し、そのメールを ReadNotify 経由で送ります。操作はこれだけです。

一旦追跡用に変換した文書はオフラインでコピーして他の PC で開いてもその状況がわかります。



